

2017年12月26日

形成外科・美容外科で、救急で過去にCTをとった患者さんへ

(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体及び通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号)の規定により、研究内容の情報を公開し、研究対象となる方等が拒否できる機会を保障することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせ、拒否される場合などがありましたら、以下の連絡先・相談窓口へご照会ください。研究への検体及び診療情報の利用を拒否された場合も不利益を受けることはありません。また、この研究については、香川大学医学部倫理委員会の審議にもとづく医学部長の許可を得ています。

[研究課題名] 3次元有限要素シミュレーションを用いた、顔面骨に加わる衝撃のパターンと、結果として生じる骨折の関係の解明

[研究機関の長] 香川大学医学部長

[研究責任者名・所属]

今城広治 (所属) 歯・顎・口腔外科 (職名) 大学院生

[研究の目的]

「どのような衝撃を加えると、どの部位に骨折が生じるのか」に関する法則性を包括的に究明するため、ヒト頭蓋の3次元コンピューターモデルを作成し、これを用いたバーチャル力学解析を、専用計算ソフトウェアを用いて行う。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

頭部外傷で、救急でCTをとった患者のCTを使用する。(3症例)

○利用する検体・診療情報

CTスキャンにより得られるDICOMデータを用いてモデルの作成を行う。

[研究組織]

香川大学医学部 歯・顎・口腔外科 大学院生 今城広治

形成外科学 教授 永竿智久

歯科口腔外科学 教授 三宅 実

形成外科 大学院生 エズス ニヤス

形成外科・美容外科 (職名) 助教 浜本有佑

形成外科・美容外科 病院助教 玉井求宜

[研究代表者]

香川大学医学部 歯・顎・口腔外科 大学院生 今城広治

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

氏名：今城広治

所属：歯・顎・口腔外科

職名：大学院生

連絡先：香川大学医学部附属病院 歯・顎・口腔外科

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

TEL: 087-891-2227 (直通)